

- (二) 次の和歌を仮名の書として表現力豊かに揮毫せよ。漢字・仮名の変更、変体仮名の使用は自由とし、改良半切二分の一を横長に使い、縦書きとする。落款印の代わりに「○」を墨書すること。
- 月影つきかげの到いたらぬ里さとはなけれども眺ながむる人ひとの心こころにぞ住すむ

- (三) 次の□の中の語句を次に示す条件にあてはまるよう揮毫せよ。

〈条件〉

草書の学習及び仮名の連綿の学習を終えた生徒に対して示す漢字仮名交じりの書の作品例とすること。

漢字・仮名使いは□の中のままとし、半切1/2用紙を使い(縦、横自由)、落款印の代わりに「○」と墨書すること。

書風、行送りは自由とし、表現力豊かに揮毫すること。

あの雲がおとした雨にぬれてゐる

三 次の(一)、(二)に答えよ。

- (一) 次の□の中の語句を目録として丁寧に体裁よく毛筆で書け。
(所定の用紙を使い、縦書きとする。行送りは自由とする。)

目録

一、作品展示ケース一台
右、卒業記念品として贈呈します
平成二十九年三月一日
卒業生一同
北条高等学校 校長永田堅次郎様

- (二) 次の□の中の語句を賞状として丁寧に体裁よく毛筆で書け。
(所定の用紙を使い、縦書きとする。行送りは自由とする。)

賞状 優勝 二年C組
あなたのクラスは校内百人一首大会において
頭書の成績を収めたのでこれを賞します
平成二十九年一月二十八日 白川清野高等学校長